

犬島「家プロジェクト」A邸 ベアトリス・ミリャーゼス「Yellow Flower Dream」 本日公開



写真：井上 嘉和

岡山県犬島にて展開している、犬島「家プロジェクト」A邸では、この度ベアトリス・ミリャーゼス氏の作品「Yellow Flower Dream」を公開いたします。

ベアトリス・ミリャーゼス氏は、ブラジルを代表する作家のひとりで、1980年代から作品を制作、世界各地にて展覧会に参加し、個展を開催しています。

A邸での作品展示が決定した後、作家は犬島を訪れました。その際に見たA邸の建築の印象を「周囲のコミュニティや自然が融合された彫刻である」と語っています。その印象を基点に作家は、犬島の自然のなかに見られる幾何形体や人びとの暮らしの生命感を、エネルギーあふれる色を用いて仮想風景として表現しました。その作品は、A邸の建築空間に新たなリズムを生み出すとともに、見る人の想像力を掻き立てます。透明なフィルムを使って作られた作品は、日の光によって多彩な表情を見せるため、鑑賞者は時間や季節によって異なった体験をすることでしょう。

皆様には、この機会にぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当／川浦、ブルヒン
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <http://www.benesse-artsite.jp/>

アーティストプロフィール

ベアトリス・ミリヤーゼス / Beatriz Milhazes

1960年リオデジャネイロ生まれ、同地在住。

社会コミュニケーション学を卒業後、1980～1983年パルケ・ラージ視覚芸術学校（リオデジャネイロ、ブラジル）で美術を学び、1996年まで同校で絵画の講師を務める。

ブラジルの代表的なアーティストの一人として評価を受けている。ブラジル国内外でキャリアを積み上げ、2003年、ヴェネツィア・ビエンナーレにブラジルの代表作家として出展。その他、サンパウロ・ビエンナーレ(1998年・2004年)、上海ビエンナーレ（2006年）など。主な個展に、州立ピナコテッカ美術館（サンパウロ、2008）、カルティエ現代美術財団（パリ、2009）、バイエラー財団（バーゼル、2011）、カルースト・ゲルベンキアン財団（リスボン）、ラテンアメリカ美術館（ブエノスアイレス、2012）、パソ インペリアル（リオ デ ジャネイロ）、オスカー・ニーマイヤー美術館（クリチバ、2013）、ペレス・アート・ミュージアム（マイアミ、2014～2015）。

作品はニューヨーク近代美術館、ソロモン・R・グッゲンハイム美術館、メトロポリタン美術館、金沢21世紀美術館、ソフィア王妃美術館やポンピドゥー・センターに収蔵。

犬島「家プロジェクト」とは

アーティストディレクターに長谷川祐子氏、建築家に妹島和世氏を迎え、2010年より展開しているプロジェクト。犬島の集落再生を目指してスタートしたもので、現在は「桃源郷」をテーマに、「F邸」「S邸」「A邸」「C邸」「I邸」の5つのギャラリーと集落内に、国内外の作家の作品を展示しています。2010年から、各ギャラリーでは不定期に作品の展示替えを行いながら、一連の作品をとおして、人々の生活の中にある潜在的希望とは何かを問いかけています。

犬島「家プロジェクト」A邸

2013年に開設したギャラリー。アクリル素材を用いたリング状のギャラリーで、中庭に立つと、展示空間と周辺の風景の連続性を体験できます。今回の作品は、2013年に続いて、2つ目の作品となります。

※本プレスリリース内の写真・画像は広報用にご提供可能です。下記の広報担当までご連絡ください。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当／川浦、ブルヒン
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse
Art Site
Naoshima

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press.html>